

# 畑作技術情報

発行 令和4年6月4日

第1号

たいせつ農業協同組合

営農部 農産販売課

本所 営農センター 57-2357

支所 営農センター 87-4111

## 赤かび・赤さび病の防除

### <赤かび病>

赤かび病は開花時期が最も感染しやすいので、開花状況を確認し開花始めに防除を実施します（図1、表1参照）。

### <赤さび病>

近年気温の上昇と乾燥が続き、赤さび病の発生が見られます。

止葉抽出期頃の薬剤防除を行い、発生予防に心がけましょう。（表2参照）。

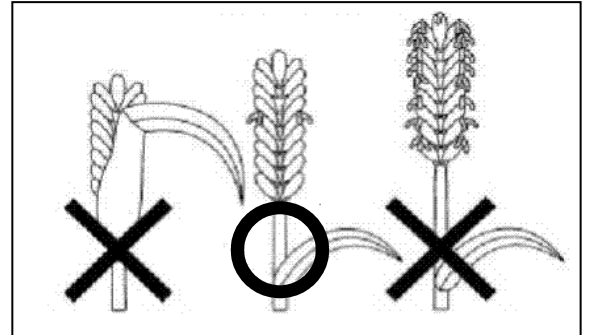


図1 赤かび病防除開花始めのタイミング

表1 赤かび病参考防除歴

	生育ステージ	薬剤名	系統名	病害・希釈倍率	回数
				赤かび病	
1回目	開花始め	シルバキュアFL	DMI	2,000	2
2回目	前回から7日後	ベフトップジンFL	他合成・ ハヅリイダザール	1,000	1
3回目*	前回から7日後	シルバキュアFL	DMI	2,000	2

※3回目の防除は春まき小麦の方は実施しましょう。

表2 赤さび病参考防除歴

	生育ステージ	薬剤名	系統名	病害・希釈倍率	回数
				赤さび病	
1回目	さび病確認時 止葉抽出期	アミスター20フロアブル	Qol	3,000	3
2回目	止葉抽出期 ～穂ばらみ期	チルト乳剤25	DMI	2,000	3

## 秋・春小麦の害虫防除について

### <アブラムシ類>

秋まき小麦の出穂期以降は、アブラムシ類の防除時期となります。1穂当り7～11頭寄生すると減収し品質も低下します。出穂期（6月中旬頃～7月上旬頃）から10～20日後に寄生密度が高まるので、よくほ場を観察し、確認した後に防除をしましょう。

対象害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準
アブラムシ類	トレボン乳剤	2,000倍 (50ml/10a)	収穫14日前まで/2回以内
	スミチオン乳剤	1,000倍 (100ml/10a)	収穫7日前まで/1回
	エルサン乳剤	1,000倍 (100ml/10a)	収穫7日前まで/4回以内

～農作業事故・農薬のドリフトへ細心の注意を払いましょう～